

# 平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

栃木県

行事名称	第62回文化財防火デー鑲阿寺消防訓練
実施期間・日時	平成28年1月21日(木) 9:30~10:40
実施場所	日本最古の学校 国指定史跡足利学校
主催者	史跡足利学校、足利市消防本部、足利市教育委員会

## ■実施内容

### 訓練の想定

史跡足利学校近隣で火災が発生し、火の粉が飛んで類焼のおそれがある状況であり、史跡足利学校の炎センサーが発報したという想定。

### 訓練の内容

史跡足利学校職員(自衛消防隊)が火災通報連絡、見学者の避難誘導訓練、重要文化財(模擬)の搬出、ドレンチャー設備、放水銃、屋外消火栓設備による放水訓練を実施。また、消防署による放水訓練及び職員に対して消火器の取扱い訓練を実施。

### 参加者及び役割分担

史跡足利学校職員	15人: 火災通報連絡、見学者の避難誘導訓練、重要物品(模擬)の搬出、ドレンチャー設備・放水銃・屋外消火栓設備による放水訓練
足利市消防本部(消防長以下)	5人: 全体統括、特別査察、講評
足利市中央消防署(署長以下)	9人: 放水訓練、消火器取扱い訓練指導
足利市役所(市長以下)	8人: 現場立会い
訓練見学者(地域住民、小学生児童、保護者)	60人

### 特に工夫した点

防火防止対策を記載したリーフレットを作成し職員及び関係者に配布し、放火されない環境づくりの大切さを訴えた。また、近隣小学生児童に参加を呼び掛け、訓練見学を通して防火啓発に図った。

### 問題点・課題

今後も様々な想定の実施訓練を実施することで、職員及び関係者の防火意識を高め、万が一火災になった場合にも発見・通報・初期消火の有効な初期対応を行い、被害を最小限に留められるよう指導したい。

### その他

毎年文化財防火デーに合わせて消防訓練及び特別査察を実施することで、地域住民の文化財愛護意識の高揚を図るとともに、関係者一同が防火・防災の必要性を再確認する良い機会となっております。今後とも訓練を継続することが重要です。

### 訓練風景

